

令和3年度の学校評価と令和4年度の教育の方向性について（概要）

本年度の重点方針と成果

学校教育目標（目指す教育） [教員の自己評価]

- 目指す学校像 [78.0%] 肯定的評価
文武両道、人権教育の推進 組織力の強化
- 目指す生徒像 [92.0%] 肯定的評価
「磨く」「挑む」「思いやる」
- 目指す教師像 [85.0%] 肯定的評価
使命感と責任感、組織力、やさしく厳しい指導

教育の質の向上（目指す成果）

- 学力向上 [本年度の成果等]
 - 学校での学習で努力80.0%以上 [85.0%]
 - 家庭学習1時間以上60.0%以上 [61.0%]
 - 通過率60.0%以上(最終65.0%) [67.8%] 4.2ポイント上昇
- 健全育成 ※ 昨年の通過率63.6%
 - 学校生活満足度80.0%以上 [93.0%]
 - 部活動を頑張った90.0%以上 [82.0%]
 - 学校行事を頑張った90.0%以上 [95.0%運動 85.0%文化]
- 小中一貫教育の視点に立った教育の推進
 - 授業改善等の年6回以上の協議会等 [年5回、教科部会設置]
 - 児童・生徒の交流や円滑な接続 [交流や体験の実施]
 - 体力向上の取組の充実 [体力は全国平均程度]

令和3年度の調査結果の分析と、改善・充実の方向性

【生徒による自己診断】

調査結果（肯定的な回答をした生徒の割合：数値は%） 12月2日～9日実施

項目	全体	1年	2年	3年
学校生活に満足していますか。	93.0	93.9	90.4	94.1
挨拶はしっかりできていますか。	95.0	93.3	95.2	97.6
学校での学習に努力していますか	85.0	90.8	79.6	84.0
運動会では頑張りましたか。	94.0	95.4	90.4	94.7
文化祭では頑張りましたか。	85.0	85.5	82.6	88.2
部活動等では頑張りましたか。	82.0	92.4	80.2	73.4
人のためになることをしましたか。	85.0	85.5	82.6	88.2
運動やスポーツに関心をもちましたか。	80.0	77.9	76.6	85.8
体力は高まってきたと思いますか。	81.0	80.8	80.6	82.2
家庭学習を1時間以上やっていますか。	61.0	49.6	51.5	79.3
身体活動（運動、手伝い等）をしていますか。	82.0	82.4	80.2	84.6
いじめをしないさせないようにしていますか。	93.0	89.3	95.2	95.9
自分には良いところがあると思いますか。	77.0	75.6	73.1	82.2

- 全体的に高い数値であり、特に、挨拶や運動発表会、いじめ防止は、第九中学校としての誇れる特色であり、全体で90%以上に達している。
- 約85%の生徒が、学校での学習に努力している。しかしながら、家庭学習については61%程度であり、十分定着していないことかわかる。
- 運動・スポーツへの関心をもつ生徒が80%を超えている。
- 自己肯定感については、第3学年で82.2%と最も高い数値になっている。

【教職員による自己診断】

調査結果（教員の割合、A：とても良い・とても当てはまる、B：よい・当てはまる）

項目	A+B	A	B
知・徳・体の調和のとれた生徒の育成	93.0	15.0	78.0
「文武両道」「組織で勝つ」の実践	78.0	11.0	67.0
「磨く」「挑む」「思いやる」生徒の育成	92.0	11.0	81.0
使命感と責任感をもった教師	85.0	15.0	70.0
基礎学力の定着の指導	78.0	15.0	63.0
学習カウンセリングの推進	63.0	7.0	56.0
主体的な学習機会の提供	89.0	15.0	74.0
補充的学習の充実	73.0	7.0	67.0
学習習慣の確立	63.0	15.0	48.0
学校行事における主体的な運営の指導	86.0	19.0	67.0
部活動への積極的な参加の指導	74.0	15.0	59.0
小中交流と社会貢献活動の指導	52.0	4.0	48.0
体力向上と活力ある生活の推進について	78.0	15.0	63.0

- 全体としてよい指導ができたと考えているが、「B」評価が多く、教職員は、さらなる指導の充実が必要と感じていることが分かる。
- 「教育方針関係」、「主体的な学習機会の提供」、「学校行事における主体的な運営」については、高い意識をもっていることが分かる。
- 「基礎学力の定着の指導」と「家庭学習の確立」については、思ったように成果が出ず、教職員が指導に悩んでいることが分かる。

関係者評価 : 教育活動等の視察及び協議、保護者・地域の期待や願い、自己評価等の調査結果など
〔開かれた学校づくり協議会で検討し、学校を評価し次年度に向けて提言する。〕

令和4年度に向けた課題の整理

- 全地域からの入学を踏まえ、九中生らしい挨拶や礼儀・マナー、活力ある生活の伝承・発展が課題である。
- 学力向上については、生徒の意欲を高め工夫や基礎学力の定着のための授業改善を一層進めるとともに、保護者との連携を強化し、読書等の習慣や家庭学習の習慣を確立することが課題である。
- 健全育成については、道徳科を中心に、挨拶や学校行事等の主体的な取組等を通して、「思いやり」の心を養い、いじめを許さないなど、豊かな心や自己肯定感を高める指導の充実が課題である。
- 体力の向上については、生活・運動習慣の確立とオリンピック・パラリンピック教育「学校2020レガシー」の充実が課題である。
- 義務教育9年間の小中一貫教育の視点から、規範意識の涵養、学習習慣の確立、健康・体力の保持増進、スマホ・ゲーム・タブレット端末等の使用など、保護者との協働による体系的指導の充実が必要である。

令和4年度の教育計画の重点

- ★ **教科横断的な視野を取り入れたSDGs教育の推進と教育活動の展開**
- 1 **学力向上** : 基礎学力の定着・家庭学習の充実 主体的に学ぶ力の育成、個に応じた指導の充実、読書習慣の定着 等
- 2 **健全育成** : 挨拶や礼儀・マナーの定着、学校行事等での主体的な態度の育成、部活動の充実、いじめを許さない社会づくり 等
- 3 **体力向上** : 健康・安全教育の推進、オリンピック・パラリンピック教育「学校2020レガシー」の推進、活力ある生徒の育成、体力に関する意識向上 等
- 4 **連携強化** : 小中一貫教育の視点に立った体系的指導の推進、学校運営の連携強化、学校・家庭・地域の連携強化 等